

損害保険会社様

損害保険会社における 大規模ITインフラ構築支援

支援期間： 1年
支援体制： 5人

クライアントの課題・背景

ネット通販商品を主力とする損害保険会社様では、創業以来、ビジネススピードを優先するためにITインフラの構築・運用をメインベンダーに任せてきました。

企業規模の拡大に伴い、昨今、金融機関におけるITガバナンスの高度化が求められていることから、ITインフラについても発注者として関与を高め、管理面について段階的に内製化することを決断しました。

クラウド基盤への移行といった大規模ITインフラ更改を目前に控え、顧客は有識人材による伴走支援の必要性を感じておられました。

ご支援の概要

当社はグループ会社をはじめとした、多くの保険会社様の大規模な「ITインフラ構築」をユーザの立場で自ら計画し実施してきました。また、クラウド基盤への移行、大規模端末更改といった、顧客が直面する最新のITインフラノウハウにも精通しています。

それらの知見を活用して、技術評価支援を行い、移行計画の策定から実行管理について、顧客に伴走してご支援しました。

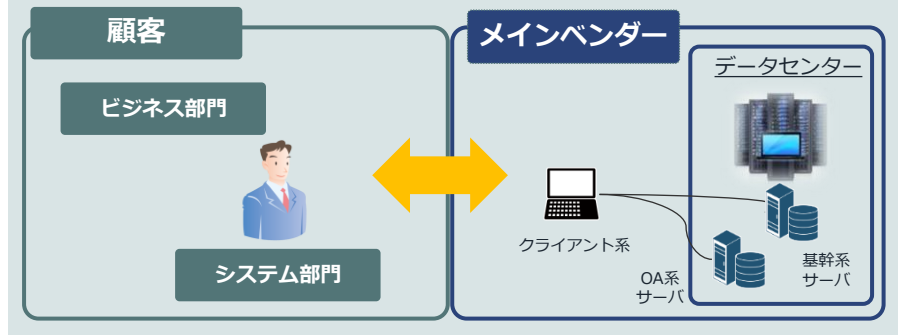
01. 計画立案局面での伴走支援

- ✓ 今回は、OA系機能をメインベンダーのインフラ基盤から切り離してクラウドベンダー環境に移行することとなったため、グループ会社でのOA系クラウド移行経験が豊富な当社メンバーが顧客担当者に伴走して支援。
- ✓ 具体的には以下のタスクについて支援。
 - ・ OA系クラウド技術動向調査
 - ・ コスト分析
 - ・ RFPの策定、選定基準の策定、提案内容の評価

02. 移行実行局面における伴走支援

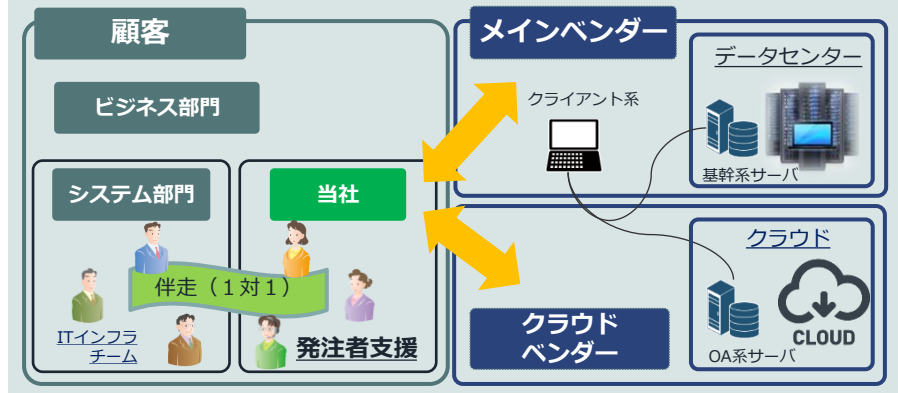
- ✓ メインベンダーとクラウドベンダーのマルチベンダーマネジメントを実施する必要があることから、インフラ移行のPMO経験のある当社メンバーが顧客担当者に伴走して支援。
- ✓ 2つの基盤に機能が分散する特性を踏まえ、以下の観点での接続テストを最優先で実施することを提言。
 - ・ 基幹系サーバとクラウド環境の接続テスト
 - ・ クライアント環境とクラウド環境の接続テスト

Before



After

・当社がベンダー選定からマネジメントまで伴走支援



Point

- 当社の伴走支援における重要ポイントは、クラウド移行プロジェクトの円滑な完遂に加え、顧客自身によるITインフラの管理面での内製化の推進。
- そのため、顧客側においても専任担当者の選定、当社メンバーとの1対1のバディ体制による、発注者として必要なインフラスキルの実践的習得を目標に設定。

01. 一斉移行を実現する綿密な計画化

- ✓ 端末更改、OS更改（Windows10から11）、Office更改について、サポート切れが間近であることから、通常の段階移行ではなく一斉に移行する必要があり、事前の綿密な計画化が必須。
- ✓ 当社の経験豊富なメンバーが綿密な計画づくりを支援。
- ✓ またクライアント系インフラ移行特有のタスクについても、当社メンバーが知見を提供し計画に反映。

02. Notes移行 実行支援

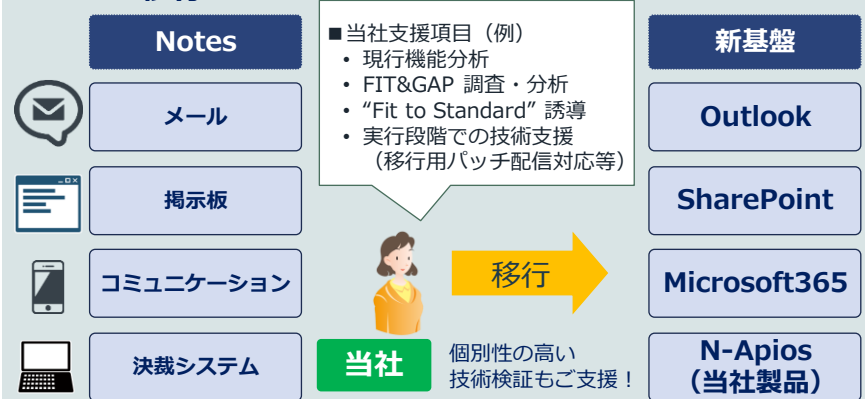
- ✓ 社内コミュニケーション基盤であるNotesシステムは顧客が長年カスタマイズを重ねて利用していることが多く、移行にあたっては綿密な現行機能分析と移行先基盤の仕様に極力合わせていく“Fit to Standard”の考え方による統制が必要。
- ✓ 当該顧客のNotes移行においては、当社が実経験とノウハウに基づき計画を立案し、**実行段階での様々な技術課題についても解決を支援。**

● 綿密な計画の立案

端末更改における移行計画（当社提供例）

計画・準備	現行端末の棚卸	新OSの要件確認	予算・計画策定
検証	パイロット端末での動作検証	セキュリティポリシーの適用確認	配布方法の検討
展開・更改	端末調達～キッティング	ユーザーへの展開	端末回収・廃棄
移行後対応	ユーザーサポート体制の整備	トラブル対応	運用・保守体制の更新

● Notes移行



Point

- サーバ系移行と比較した場合、クライアント系インフラ移行時には、端末や製品の組み合わせに応じて個別性の高い技術課題が発生するため、すべての課題を事前に予測して計画化することは困難。
- 当社は、グループ会社をはじめとした開発実務経験を通じて高い技術知見を有したコンサルタントが、移行実施段階で発生する様々な技術課題をリアルタイムに解決し、対策前進運営をリード。

注）Windows、Office、Outlook、SharePoint、Microsoft365 は、Microsoft Corporation の商標です。

01

当社の経験豊富なコンサルタントが顧客インフラ担当者を伴走支援することで、難易度の高いインフラのクラウド移行プロジェクトをメインベンダーに依存することなく完遂。

02

当社の専門性を有するコンサルタントが支援することで、特有の技術知見を要するクライアント系インフラの一斉更改プロジェクトやNotes移行プロジェクトを完遂。

03

当社コンサルタントから顧客担当者へのスキルトランスファーに着手しており、顧客側におけるインフラ管理内製化に貢献。